

# 令和2年度 学校評価報告書

丹波篠山市立今田小学校

校長 堀 香 織

## 1 学校教育目標等

学校教育目標 「ふるさと今田を誇りに思い、自立して未来に挑戦する今田っ子の育成」 本年度 今田小学校の合い言葉 「当たり前が当たり前」
---

## 2 今年度の重点目標

<p>1. 社会の一員として必要な資質を身につけさせるとともに、人として当たり前に行動することの大切さを理解し、自ら進んで行動できる児童を育成する。</p> <p>2. 職員間の情報交換を密にし、児童の心に寄り添った組織的な生徒指導を徹底するとともに、児童の実態に応じた適切な指導・支援を行う。</p> <p>3. 地域・保護者と連携した安全管理によってより安全な学校環境づくりを推進するとともに、防災・減災の意識の高揚、児童自身が安全な行動を実践する能力や「自分の身は自分で守る」意識を培う。</p>
---

## 3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
生徒指導	社会の一員として必要な資質の定着 規範意識を高める指導	B	・あいさつに関しては児童会と連携した取組により改善傾向である。児童アンケートでは85%が「進んであいさつができています」と回答している。 ・時間を守る、集団生活のマナーを身につけるなど今後も当たりの行動が増えるよう指導を継続する。
	児童理解と組織的な対応 外部関係機関との連携	A	・問題行動の早期解決に向け、組織的な対応ができた。 ・家庭の不安定さが児童に影響を及ぼしている事象があり家庭児童相談室をはじめ関係機関との連携を取り、柔軟な支援体制を心がけた。
学習指導	基礎・基本の定着	B	勉強がわかると回答した児童が91%である。学習タイムや家庭学習で個に応じた学習の充実に努めることができた。学ぶ喜びをこれからも体感できるようにする。
	学習形態・指導方法の工夫 改善	B	児童間対話の工夫、教師の適切な問いかけ等、校内研修で新学習指導要領における指導のあり方を再確認し、日々の指導に生かすようにした。
安全管理	安全・防災教育指導の工夫 ・改善	A	・県教委指定「防災教育授業実践推進校」として保護者に授業公開し、防災意識の高揚に努めた。 ・本校の実態に応じた防災教育の系統性のモデルイメージができた。次年度以降も継続して取組を進めていく。
	家庭・地域との連携	B	継続した指導により児童の「自分の命は自分で守る」意識が高まった。また、学校での指導を学校だより等で地域・保護者に周知することで歩調を合わせて指導できた。
地域とともに ある学校 づくり	学校運営協議会との連携	A	「ふるさと講演会」や夏季における下校時の見守り活動等さまざまな活動を企画・運営していただいた。
	地域人材の活用とふるさと と教育	A	コロナ禍の中、工夫をして黒豆の栽培等ふるさと教育の推進に多くの地域の方の支援をいただいた。

#### 4 学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

- ・コロナ禍において、児童が元気に学校生活を送れたことが本年度一番評価できることである。
- ・昨年度の反省を生かし、「あいさつ」について児童会をはじめさまざまな取組により、改善傾向であることは評価できる。
- ・いじめを認知した事案に対し、児童と話を重ね保護者とも連携を取りながら早急に解決に向けて取り組み、現時点で解消していることが何よりである。
- ・児童の安全確保について、特に夏季の猛暑時、学校とPTA（保護者）と地域が連携し見守り活動ができたことは良かったと思う。次年度も継続していきたい。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・まだしばらくはコロナ感染予防に留意した学校生活が続くと思われるが、気持ちを緩めることなく、児童に感染予防の高い意識を持たせるよう指導してほしい。
- ・アンケート結果より、学校へ行くのが楽しいと思っていない少数の児童に対し、どのような方策をとっているのか知りたい。（該当児童とは担任が面談をして状況を把握していること、保護者との連携を図り対応していることを説明した。） 今後も保護者と連携し、1人1人に応じた手厚い対応を願う。
- ・先生方の自己評価が良すぎるように感じる。これで良いと思わずに課題意識を持って児童と向き合してほしい。（学校課題に関してチームとして取り組んできた成果が自己評価にでていること、さらに高い目標を持って今後取り組んでいきたいと返答している。）
- ・昨年度と比べ保護者アンケートの回収率が上がったことは良かった。

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・あいさつに関しては、子供の心が成長するとあいさつはしなければならぬという認識が生まれてくる。家庭との連携を図り子供の心が成長する取組を今後も継続してほしい。</li><li>・やはり地域においては高学年ほど恥ずかしさが出てくるのかあいさつをしないように感じる。いずれ社会に出て行く子らに「当たり前のこと」として習慣化させてほしいと思う。</li><li>・不登校児童がいることに関して、状態が良くなるようにしっかりとした手立てを講じてほしい。</li></ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍において話し合い活動がしにくかった状況は理解できるが、児童同士の有効な意見交換のあり方について、先生方の知恵を出し合い工夫をして取り組むことで子供の力を伸ばしてほしい。</li><li>・GIGAスクール構想に基づき、1人1台PCが配置されると聞く。有効な活用により、子供たちの学力が向上されるよう願う。</li></ul>
地域とともにある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・本年度の「ふるさと講演会」は「日本遺産六古窯」であったが、子供たちには自分の育っている地域が素晴らしい文化を持っていることを誇りに思ってもらえるように、これからも継続して取組を進めていくべきである。また、講師の皆さんも母校今田小への愛情を持って来ていただいたので、地域人材の活用を今後も積極的に考えてもらいたい。</li><li>・今田まち協とPTAの有志により発足した見守り隊の活動が10年目を迎えようとしている。今後も子供の安全の確保の1つの手立てとして、各地区における実態を把握し、課題があれば対応する必要があると思う。</li><li>・子供の安心・安全を第一に学校経営をされていることがよくわかったので、地域に対しての要望があれば知らせてほしい。できる限りの協力をしていきたい。</li></ul>

